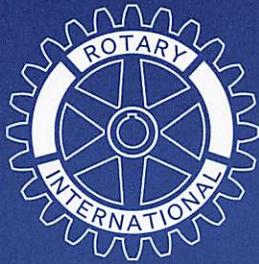


# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY  
名古屋  
ちくさ  
題字 伊藤昌石

名古屋千種ロータリークラブ  
承認 1982年 8月24日  
例会日 火曜日 12:30  
例会場 名古屋東急ホテル  
事務局 TEL 763-5110 FAX 763-5121  
E-mail chikusa\_rc@hkg.odn.ne.jp  
会長 吉田 玄  
幹事 福井 浩道  
公共イメージ向上委員 林 永芳

No. 23 **ロータリー：変化をもたらす**  
ROTARY：MAKING A DIFFERENCE

2017～2018年度 RI会長  
イアンH.S.ライズリー

### 今日の例会

第1672回 平成30年 2月 6日(火)  
卓話：(株)CBCテレビ 特別解説委員 石塚 元章 様  
「“集める”を考える～ニュース解説・奮戦記～」

### 先回の例会

第1671回 平成30年 1月 30日(火) 晴  
**節分例会**  
城山八幡宮 17:30～



### 節分析祈・追難式



### 福井幹事報告

- 1) 2月例会レポート 1部=110円
- 2) 本支配布案内：2月例会内容

### 伊藤職業奉仕委員長挨拶



本日は、名古屋名城 RAC 会長 柴田恭佑様、青少年交換生のエリザベス・ソリス様ようこそお越し下さいました。ありがとうございます。

今期、職業奉仕委員会としては、先日の優良従業員表彰に続き、本日の節分例会での豆まき、また3月20日に昭和塾堂での職場例会を予定致しております。宜しくお願い致します。

### 名古屋名城 RAC 柴田会長挨拶



名古屋名城ローターアクトクラブ、今年度会長 柴田恭佑と申します。本日は節分例会にお招き頂きましてありがとうございます。とても良い経験をさせて頂きました。

今期、名古屋名城ローターアクトクラブは変革の年ということで、「躍進」というテーマを掲げております。次の年に向けて躍進していきたいと思っておりますので、宜しくお願い申し上げます。

### 講話

吉田 玄

(会長挨拶を兼ねて)



今晚は、本日は恒例の節分例会です。名古屋名城ローターアクトクラブ 会長 柴田 恭佑君、青少年交換留学生エリザベス・ソリスさん、ようこそいらっしゃいました。

鬼とか豆まきとか、シーシャさんにとっては不思議な習慣に見えるかもしれませんが、飛鳥時代後期、706年に宮中で始まった「追儺」行事が発

#### ◆奉仕の理想

#### ◆ゲスト紹介

名古屋名城 RAC 会長 柴田 恭佑 様  
青少年交換生 エリザベス・ソリス 様

#### ◆出席報告

正会員 36(32)名 出席 25名  
名誉会員 1名  
出席率(名誉会員除く) 78.13 %  
前々回 1/16(修正出席率) 90.32 %  
★ビジター数(昼間) 44名

祥といわれていますから、随分古い行事です。国府宮の裸祭りはその追儼をひっくり返して「儼追」神事と呼んでいます。裸祭りは、シーシャさんには少々刺激が強すぎるかもしれませんね。

今年の4月22日(日)は春の家族会で京都の洛南へ一緒しますが、4月3日(火)の御園座の柿葺落興業のチケットを宮尾君が入手して頂きました。50枚しかありませんので、申込順で人数調整もさせていただきます。春の家族会の近くですから家族会とは銘打たず、臨時的観劇会くらいという事にさせていただきます。例会変更にはなりませんから、チケットへ例会費の補充もできませんので少し高めですが、どうぞご容赦下さい。松本白鷗、幸四郎、中村吉右衛門と豪華な舞台です。宜しくお願い致します。ここまです会長挨拶とさせて頂いて、引き続き宮司卓話にさせていただきます。忙しい。本当はどなたかに卓話をお願いしたかったのですが、宮司がやらないと意味ないと言われて大変です。

さて、京都の「宇治上神社」という、世界遺産に登録されている神社をご存じでしょうか。平安中期、1060年頃の本殿は、日本最古の神社建築といわれています。宇治川を挟んで、宇治の平等院の向こう岸(反対側)近くにある神社です。

数年前、この神社が作った参拝者向けのチラシが話題になりました。「小さなお子様をお連れの親御様へ」と題したメッセージでした。

内容は、「ここは神社です。皆様が心を静めてお参りをされる場所です。テーマパークでもファミリーレストランでもありません。サービス業ではないのです。『お客様は神様』は通用しません。(次のフレーズが一番良いところ)『本当の神様は目の前においでです』。当然、不敬な行動は叱ります。親御さんがお子様をしっかりと監督なさって下さい。お子様を叱るのは、親の責任です。親が不行き届きで、周りの人に叱って頂いたなら、逆切れではなく、『ありがとうございます』です。自分本位な考えの大人にならないように、正しい教育で共にお子様の健やかな成長を見守りましょう」というものでした。

このチラシに対して、「当然のこと」とか「ここまでの注意書きが必要とは」「当たり前なことを掲示しなければいけない悲しさ」「神社にこんな貼り紙がしてあるのが本来は異常」「サービス業の店員であっても注意すべきだと思う」といった反応が上がっていました。

世界遺産になってから参拝者が増え、神職が子どもを注意すると、逆にその親から苦情を言われるケースが増えてきたので、他の参拝者のためにも、守ってほしい一般的なことを書いたそうです。子どもの頃にやりたい放題で育ちそのまま大きくなったら大変なことになりかねない。子どものうちに、しっかりと親や周囲の大人が教えることが必要だということを伝えたい

うです。子どもたちは宝。健全に育つように周りの大人が見守っていける、そんな社会であつたら嬉しいと仰っていますが、本当です。

ここ八幡宮でもそんな事はしょっちゅうで、最近はやりたい放題で育った子供が大人になってきて、益々言いたい放題やりたい放題に拍車がかかっているような気がします。やりたい放題の大人に育てられた子供はどうなるか、想像するだけに恐ろしい事です。

ところで、最初にこの「お客様は神様です」と言い始めたのは三波春夫氏だそうですが、彼は「お客様とは商店や飲食店などの客ではなく、聴衆・オーディエンスであり、お客様は自らの芸の練達度を写す鏡だという事です。この言葉を盾に悪態をつく客は『様』を付けて呼んで貰えるような人たちではない」と言い切っています。

それでも矢張りこういうモンスター達の傾向は、マネーや行儀を知らない事からそうなっているという面も大きいと思います。

数年前に、本殿正面の神門柱に「参入一礼退出一礼」と書いただけで、随分多くの方が礼をしてから出入りするようになりました。謙虚さの美德がまだまだ残っている事が確認でき、少しホットしました。

矢張り教育は知識だけではありません。人間教育が大切です。そういう意味では明治150年の今年は教育を見直す良い機会ではないかと思ひます。

本日はごゆっくりお過ごし下さい。

## 直会



年男の和田君による  
乾杯ご発声

賑やかな直会となりました。  
最後は笹野君に会を閉めて頂きました。  
今年も千種RCと会員皆様にとって素晴らしい1年でありますように。



\*ニコボックスは次回掲載させていただきます

次回例会 平成30年 2月13日(火) 12:30 3階 錦の間  
卓話: 「天台宗と比叡山」 会員 舎人 経昭 君